

アウグスブルク市との60年以上に渡る姉妹都市交流

事業 分類	姉妹 都市	教育	文化	スポーツ	保健・福祉・医療	経済
		行政	ホストタウン	外国人技能実習	オンライン	その他
自治体	日本：滋賀県 長浜市			海外：ドイツ アウグスブルク市		

【事例紹介】

交流事業の特色

- ・1959年の姉妹都市締結後60年以上の長きにわたり、スポーツ、音楽、芸術文化など幅広い分野においてさまざまな交流事業を実施。
- ・公式使節団の派遣・受入は、これまでに派遣20回、受入18回を数え、延べ700名以上が使節団交流に参加。
- ・長浜市の青年使節団の派遣者OB、OGが積極的に交流イベントに参加するなど新たな交流の担い手の発掘・育成につながっている。
- ・アウグスブルク市においても、使節団派遣者OB、OGを中心に結成された団体ができ、新たな市民間交流につながるきっかけとなっている。
- ・2019年は姉妹都市提携60周年記念事業として『姉妹都市フォトツアー』を実施。Instagram（インスタグラム）を活用し、若者を含む多くの市民が気軽に交流に参加できる先進的な事業となった。

※詳しくはこちら ⇒ <https://www.city.nagahama.lg.jp/0000000212.html>



姉妹都市提携60周年 長浜市使節団のアウグスブルク市訪問



姉妹都市提携60周年 アウグスブルク市青年使節団との市民交流



姉妹都市提携60周年 アウグスブルク市青年使節団ホストファミリー



姉妹都市提携60周年 アウグスブルク市日本庭園庭師研修生受け入れ

交流事業の内容

長浜市とアウグスブルク市は、姉妹都市提携後、60年以上の長きに渡り、様々な分野で姉妹都市交流を行ってきた。

特に、両市における相互の公式使節団派遣・受入事業は、これまでに派遣20回、受入18回を実施され、延べ700名以上が使節団交流に参加した。姉妹都市提携後、当初は不定期に行われた使節団交流だったが、昭和55年（1980年）から定期的に使節団派遣が行われるようになり、平成20年（2008年）以降は、親善使節団から『青年使節団』と名前を変え、若者の交流に重きを置いた使節団交流となった。

使節団は一般市民に限らず、これまでサッカーチームや合唱グループ、芸術家などの派遣・受入を行い、スポーツ、音楽、芸術文化等、多岐にわたる分野において交流を続けてきた。青年使節団の派遣者OB、OGが長浜市民国際交流協会の国際交流ボランティアに登録し、長浜市の国際交流イベントに参加したり、アウグスブルク市青年使節団のホストファミリーを申し出るなど、新たな国際交流の担い手の発掘・育成につながっている。

受入れに関しても、アウグスブルク市からの使節団員は長浜の歴史、文化を学ぶことができ、ホストファミリーだけでなく、一般市民との交流の場を彼らに提供することで、お互いの国際意識の醸成や両市の市民間交流につながるきっかけとなっている。その結果、現在ではアウグスブルク市に使節団派遣者OB、OGで結成された団体ができ、日本食を学ぶクッキングパーティー等のイベントも開催されるまでになった。

2019年には、姉妹都市提携60周年記念式典がアウグスブルク市で開催され、長浜市民行政使節団が参加。これまで公式使節団派遣・受入事業が長きにわたり継続され、両市の交流において大きな効果をもたらしたことを記念する一つの節目となった。

また、アウグスブルク市には、1984年に姉妹都市提携25周年を記念して、長浜市と尼崎市が贈呈した日本庭園がある。その維持・管理を目的として、平成22年に長浜市から庭師の派遣を行い、令和元年にはアウグスブルク市緑化自然保護局の職員が専門技術交流を目的にアウグスブルク市から派遣され、長浜市で研修を受け専門技術の交流を行った。

2019年の姉妹都市提携60周年記念事業においては、『姉妹都市フォトツアー』と題して、姉妹都市提携60周年を記念し、Instagram（インスタグラム）を活用した写真交流を実施。若者を含む数多くの両市民が参加し、指定のハッシュタグをつけて、長浜市とアウグスブルク市の魅力あふれる写真を投稿した。集まった写真は長浜市役所本庁にて展示された。

【(参考) 姉妹都市の概要】

	長浜市の概要	アウグスブルク市の概要
人口	116,840人(令和3年1月1日現在)	296,582人(2019年12月31日現在)
面積	681.02 km ²	146.84 km ²
概況	長浜市は滋賀県の東北部に位置し、周囲は伊吹山系の山々と琵琶湖に面しており、中央には琵琶湖に注ぐ姉川や高時川、余呉川等により形成された豊かな湖北平野と水鳥が集う湖岸風景が広がる。また、北國街道や、長浜城をはじめ、数多くの観音が祀られる観音の里など、多くのすぐれた歴史的遺産を有する。京都市や名古屋市からはおよそ60キロメートル圏域、大阪市からはおよそ100キロメートル圏域にあり、これらの経済圏域とも利便性高く結びついている。	アウグスブルク市は、人口約29万人、ロマンチック街道の中心地として栄える商工業都市で、繊維産業をはじめ、機械、製鉄、金属、衣料工業もさかん。2000年の歴史を誇る古都で、世界最古の社会福祉施設フッゲライヤルネッサンス様式の美しい市庁舎などと共に、音楽家レオポルド・モーツァルトや、詩人ベルト・ブレヒトのゆかりの地としても知られている。

【姉妹都市交流に係る周辺情報】

提携年月日	昭和34(1959)年4月11日
姉妹都市提携の経緯	ヤンマーディーゼル株式会社の初代社長山岡尊吉氏が、ディーゼルエンジンに深く感銘を受け、アウグスブルク市にディーゼルエンジンの発明家、ルドルフ・ディーゼル博士の顕彰碑を建立したことがアウグスブルク市民に感謝され、縁となり、昭和34年4月姉妹都市提携に至った。
今後の展望、課題等	本市とアウグスブルク市は、市民間の交流により友好を深めるため、青年使節団の派遣、受入を隔年で実施している。令和元年に姉妹都市提携60周年を迎え、さらなる交流を深めていきたいと考えていたところ、新型コロナウイルスの影響により、残念ながら令和2年度は青年使節団の交流は中止となってしまったが、SNSを利用した市民間の写真交流をはじめ、オンラインを利用した両市民のリアルタイムでの交流など、既存の形にとらわれない新しい方法を模索しながら、さらにアウグスブルク市との交流を深めていきたい。

(作成年月：2021年3月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時点で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。